



2020 年 4 月 20 日(月)

2020 年度 宮城学院中学校高等学校

始業式 礼拝 次第

司 式 大久保 直樹

前 奏 (黙祷)

招きの言葉

詩編 100 編 1～3 節

讃美歌

520 番 「真実に清く生きたい」

聖 書

詩編 46 編 1～4 節

祈 祷

宗教主事 大久保 直樹

説 教

「苦難の時ほど」

校 長 杉本 きみ子

校 歌

讃美歌

27 番 「父・子・聖霊の」

祝 祷

後 奏 (黙祷)

【讃美歌 520 番】

1 真実に 清く生きたい、

誠実な 友のために。

恐れず 強くありたい。

なすべきわざのために。(繰り返し)

2 まことの 友となりたい、

友なき 人の友と、

与えて 報い求めぬ

まことの愛の人と。(繰り返し)

3 謙虚に 進みゆきたい、

弱さを 自覚しつつ。

ゆく手は なお遠くても

心を高くあげよう。(繰り返し)

【頌栄 27 番】

父・子・聖霊のひとりの主よ、

栄えと力はただ主にあれ、

とこしえまで。 アーメン。

【聖書：詩編 46 編 1～4 節】

46:01 【指揮者に合わせて。コラの子の詩。アラモト 調。歌。】

46:02 神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。

苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。

46:03 わたしたちは決して恐れない

地が姿を変え 山々が揺らいで海の中に移るとも

46:04 海の水が騒ぎ、沸き返り その高ぶるさまに山々が震えるとも。

【校歌】

ど い ぼんすい
土井 晩翠：作詞

ゲート・I・ハンセン：作曲

(1) 天にみさかえ 地に平和
ひとにみ恵み あけくれに
祈る 尊き み教えの
光をあおぐ 姉妹

(3) わが名にしおう 宮城野の
錦の郷に 日々に織る
あやを 心によそいつつ
聖なるわざに いそしむ身

(2) ああ 曙よ 光明よ
春よ 望と愛と信
嵐も雨も むらくもも
我には示す 明日の晴

(4) 鳩のやさしみ 清浄の
操みどりの かんらんの
色はとこしえ 人の世に
神のほまれを あらわさん

宮城学院 2020 年度 主題聖句

受けるよりは 与える方が幸いである。

使徒言行録 20 章 35 節

“It is more blessed to give than to receive.”

～Acts 20:35～